

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2390100267
事業所名	グループホーム咲花唐山

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） 町内会に加入し、回覧板も回ってきている。コロナ第5類移行を受け、地域の情報をもらい、地域の大掃除に職員が参加したり、あるいは復活した子供神輿の来訪を受けたりした。また新たに保育園との交流も始まり、ハロウィーンに園児が訪問してくれた。ボランティアの訪問も復活し、利用者の笑顔につながっている。地域の人からグループホームについて、あるいは介護事業所についての相談もあり、答えている。	評価	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） 二か月ごとに運営推進会議が開催され、地域住民、いきいき支援センター職員、利用者家族などを構成員としている。事業所情報を伝えるとともに地域の情報をもらい、行事に参加したり、あるいはアルツハイマー用新薬レカネマブについて学ぶ機会もあった。また非常時の行動について考える場ともなり、利用者の避難について、あるいは備蓄について考える場となった。	評価	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4） 区の担当者とは直接あるいは電話で連絡を密にとっており、連携がとられている。行政主体の研修に職員は参加している。またいきいき支援センター職員が運営推進会議に参加してくれる。	評価	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） 家族には訪問時や電話で必ずその意見をきく機会を作り、出された意見があれば職員間で共有している。現在ホームページが更新されない状況にあるが、個別にお便りを出し補っている。全体対象にホームだより製作予定である。	評価	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価	
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	評価	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	評価	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	評価	○
総合評価		評価	○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価									○	○	○
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	○	○	◎	○							

備考欄